

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2391600018 |
| 事業所名 | グループホームあすか |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|--------------------------|---|---------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域の認知症研修に参加をして、地域の人々にグループホームと小規模多機能の説明と紹介を行い、参加している人々に事業所の周知を深めてもらうことが出来た。また、夏祭りには事前に近所にお知らせを配り、当日は多くの子ども達がホームに遊びに来てくれた。利用者も子ども達と一緒に楽しむことができて大変喜んでいました。 | 評価 ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 併設の小規模多機能ホームと合同で、2ヶ月に1回定期的に行っている。いきいき支援センターの職員や家族の参加協力も得て、ホームの行事報告や重度化に伴った看取りについて、家族と一緒に話し合い意見交換がされている。 | 評価 ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護の利用者が入居している為、保護係りの定期的な訪問がある。その都度情報交換やホームでの様子を伝えている。 | 評価 ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族に利用者ひとりひとりのホームでの暮らしぶりや様子を、定期的に通信で知らせている。利用者や家族から出た要望や意見は、職員間で話し合いをして、出来る限り支援に反映し実践するように努めている。 | 評価 ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | ○ |
| ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。